

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年8月29日(月) 午後2時00分～

1. 「山頭火ふるさと館特別企画展」について

- 9月1日号の市広報でも紹介しているが、今年は、山頭火ふるさと館が開館して5年、種田山頭火生誕140年の年になる。これを記念して、9月4日(日)から12月5日(月)までの間、特別企画展「山頭火と芭蕉・良寛 尊敬した先人たち」を開催する。
- この特別企画展は有料だが、宝くじの助成金を活用して割安となっている。
- 山頭火が、松尾芭蕉や良寛等の先人たちから、どのような影響を受けたのかが、大変分かりやすい展示となっている。
- 期間中は、学芸員によるギャラリートークや、様々な工夫をこらしたイベント等が用意されているので、この機会に是非ご覧いただきたい。

2. 「駅北公有地の処分」について

- 八王子一丁目の駅北公有地については、公募型プロポーザル選定の優先交渉権者との協議が整い、このたび、土地売買仮契約に至った。
- 本契約は、防府市議会の議決を要するものとなるため、9月定例会に議案を上程し、議決を経て、所有権移転等の手続を進める。
- これから駅北のまちづくりが大きく進むと期待しているところである。

3. 「英雲荘 三度の月見」について

- 英雲荘では、毎年旧暦8月の十五夜に夜間公開を行っているが、今年は、夜間一般公開を3回実施する。

- 第1弾は9月10日(土)、続く第2弾は10月7日(金)から10日(月)までの4日間、そして、第3弾は11月3日(木・祝)である。
- 月夜の鑑賞に加えて、高校生による音楽演奏、写真展、ソラール館長による解説など、各種催しを用意している。
- 古くから「三度月見ができると、縁起が良い」とされている。なお、この3回すべての来館者には、記念品を差し上げる予定としている。

4. 「防府競輪写真展の開催と来場促進」について

- 防府競輪場のメインスタンドをはじめとした施設は、約2年間のリニューアル工事に入る。
- 現在の競輪場のメインスタンドを使う最後の開催となる開設73周年記念 周防国府杯 争奪戦(GⅢ)を11月3日(木・祝)から6日(日)まで開催する。
- 多くの競輪ファンに名残を惜しんでいただくため、懐かしい写真を集めた写真展を防府競輪場内で開催する。
- また、これまでのご愛顧に感謝するため、本場開催時に必要となる普通入場料と、このたびの工事で解体されるメインスタンド特別観覧席の特別入場料を無料とする。
- いずれも期間は、9月5日(月)から11月6日(日)まで。今のメインスタンドはまもなく見納めとなる。この機会に、是非、来場頂きたい。

5. 「防府テクノタウンへの新規企業進出」について

- 「防府テクノタウン」に、このたび物流事業を手掛けている、株式会社ハマキョウレックス様の進出が決定した。

- 防府テクノタウンへの進出企業としては5社目となり、残る区画は2区画となっている。
- 同社は、大手ドラッグストアチェーンやホームセンターの配送を手掛けるなど、全国的に物流事業を展開されているが、今回、先進的な機器を導入された新たな物流拠点を建設され、配送時間の短縮と物流コストの削減などの効果を見込まれている。
- 同社は10月29日（土）からの操業開始に向け、150名程度の新規雇用を計画されている。

6. 「令和4年9月市議会定例会の議案概要」について

この度の令和4年9月市議会の議案は、第56号から第64号までの9件、認定が2件、推薦が1件、報告が8件となっている。議案の概要については次のとおりである。

(1) 議案第56号、議案第57号 「補正予算案の概要」について

補正総額は5億9,500万円、また債務負担行為として29億8,000万円を設定している。

①新型コロナウイルスワクチン接種事業

- 国の方針に基づき、2回目までの接種を完了した全ての方を対象としたオミクロン株対応ワクチンの接種開始に備えるための経費として、5億円を計上している。

②マイナンバーカード取得促進事業

- 令和4年8月1日現在において、防府市のマイナンバーカードの申請率は6割を超え、県内では1位となっている。国のマイナポイント第2弾の期間終了後も、継続的に商業施設や企業への出張によるマイナンバー

カードの申請受付などを実施するための経費として、2,800万円を計上している。

③交通系ICカード導入支援事業

- JRやバスにおける、ICOCA（イコカ）などの交通系ICカードの導入開始に合わせ、公共交通利用者の利便性向上を図るため、市内タクシー事業者の、決済端末機の導入を促進する費用として、1,000万円を計上している。

④華城小学校環境整備事業

- 市道小徳田野地線の拡幅に伴う留守家庭児童学級の移転用地など、華城小学校の教育環境改善のため、隣接する用地の取得交渉に向けた調査などを行う費用として、2,500万円を計上している。

⑤遊具緊急安全対策

- 小中学校等の遊具において、危険性について専門業者による一斉点検を行った結果、改修等が必要なものが分かり、緊急を要するものについて改修等を行うため、2,650万円を計上している。

⑥障害者運動用具の整備

- 日本パラスポーツ協会からの助成金を受け、貸し出し用のスポーツ用具を購入するため、500万円を計上している。

⑦競輪事業特別会計の債務負担行為

- 競輪場のメインスタンドや交流ゾーンの実施設計が完了したことから、速やかに整備に着手できるよう、29億8,000万円の債務負担行為を設定している。

(2) 議案第60号 財産の取得

- 防府市創業・交流センターの備品について、企画競争の結果、株式会社

三友と契約し、取得しようとするものである。

(3) 議案第61号 土地の処分

- 先ほどご説明した駅北公有地について、売却しようとするものである。

(4) 議案第63号 防府市印鑑条例及び防府市手数料条例中改正

- マイナンバーカードを使用する住民票など各種証明書の自動交付機を、10月から市役所に設置することとしている。それに合わせ、自動交付機で交付を受ける場合の手数料を新たに定めるものである。
- 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍の附票等の写しを取得する場合の現行の手数料は200円、戸籍謄本及び戸籍抄本等の場合は450円となっているが、10月からは、市役所及びコンビニ等の自動交付機でマイナンバーカードを使って取得された場合は、150円とする。住民票でも戸籍謄本でも業務量は一緒のため、150円に統一するものである。
- 150円という金額はおそらく県下では1番、特に戸籍謄本等については、全国でも一番安い水準と考えている。
- 市民の皆様にデジタル化の恩恵が行き渡るように、しっかりとPRしていきたい。

(5) 議案第64号 防府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等中改正

- 国家公務員に準じて、育児休業の取得回数の制限等についての見直しなど、所要の改正を行うものである。

(6) 認定第1号、認定第2号

- 令和3年度防府市一般会計ほか8特別会計の決算、及び、令和3年度防府市上下水道事業決算の認定についてである。

(7) 推薦第2号 人権擁護委員候補者の推薦

- 人権擁護委員のうち3名の任期が令和4年12月31日で満了するため、

4期目を満了する、門田美和子委員が退任され、新たに有富健氏を推薦し、中谷加代子委員、重永敬二委員におかれては、引き続きお願いするに当たり、議会の意見を求めるものである。

(8) 報告

- 「防府地域振興株式会社の経営状況報告」ほか8件を報告するものである。

7. 「新入学児童への通学用かばん」のお披露目

- 本市では、子ども・子育て支援に様々な取り組みを行っているが、そうした中で、通学用ランドセルが非常に重たいと思っていた。学校へ通う子供たちを見送る中で、軽いランドセル、軽いカバンはできないかということを検討していた。
- そして、今年度の予算で来年の新入生からは、市がランドセルに代わる通学用カバンを配るということを発表させていただいた。
- こどもたちの安全安心と、新1年生に、同じカバンで同じ思いをもって入学してほしいという思いを込め、教育長に検討をお願いした。
- 来春から、このかばんを背負った新一年生が通学してくれることを楽しみにしている。そして、6年後には、全ての小学生が、同じカバンを背負って登校する姿を今から夢見ている。

※教育長による、通学用かばんの主な特徴の説明

- ・低学年児童の身体的負担を軽くする、安全安心で、コンパクトな仕様で、重さは920グラム。
- ・本年4月以降、PTA、保育協会、幼稚園連盟の代表者等の皆様のご

意見をいただきながら進めてきた。

- 受注者である中村株式会社様は制服及びかばんの制作等の実績がある地元企業。その経験を活かして様々な工夫をしていただいた。
- 前後、左右、すべての方向に反射材があり、胸ベルトで背中に固定でき、肩ベルトによる調整や、マチ幅の調整が可能。
- 背面はメッシュで通気性がよく、市の花サルビアをイメージした色で、そこに市章が縫い込んである。
- 色は、市内の現小学生5,903名による投票によって、ベージュに決まった。来春、このカバンを背負った新入学生を、色を選んだ先輩たちが温かく迎え入れてくれると考えている。
- 子どもたちへの様々な思いが込められた通学用カバンが完成し、大変嬉しく、感激している。